

都立淵江高等学校 グランドデザイン（イメージ）

<p>【生徒／学校の現状】 【生徒の現状】 ・約90%が足立区立中学出身、94%が自転車通学 ・昨年度進路決定率88% ・進路多様校 ・生徒の雰囲気は穏やか ・学習習慣、基本的生活習慣に課題 ・自分のできることから意欲的に取り組む生徒 【学校の状況】 ・地域、足立区と密着した学校。 ・地域の評判は良く、連携を推進している。近年応募倍率も保っている。 ・ボランティア活動や国際交流は実践の蓄積がある。（ボランティア活動推進校等） ・アクティブ・ラーニング推進、ICTの高い活用状況等、授業改善に意欲的な教員が多い。 ・保護者の教育への関心度や経済的な状況も動向する。</p>	<p>【教育目標】 ア 生命及び人権尊重の精神と、寛容及び協調の態度を持ち、中立公平な立場から自主的に判断ができる、社会性に富んだ人間としての資質を養う。 イ 知性の向上に努め、健全で情緒及び個性豊かな人間を育成する。 ウ 責任を持って意欲的に困難を克服しようとする人間を育成する。</p>
<p>【予想される社会の変化】 情報化やグローバル化加速的に進展する、複雑で予測困難な、知識基盤社会。 変化を前向きに受け止め、社会や人生を、より豊かなものにしていくことが期待される。</p>	<p>【学校像/学校経営計画】 地域に信頼され、生徒を最大限に伸ばし、生徒の希望する進路に答えられる学校</p>

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）
自他を尊重し、社会の中で貢献できる人間
 （20年後）：予測できない変化にも主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる。

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】

- 将来に向けて学び続ける力
- 困難があってもやりとおす力
- 他者との関係を築く力
- 基本的生活習慣と規範意識

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

重点的に育成したい資質・能力	レベル1（C）	レベル2（B）	レベル3（A）	レベル4（S）	目指すべき生徒の将来像	
設定のめやす	支援を受けながら、目標に向けた習得に努める。	支援を受けながら、目標到達ができる。	自ら目標到達ができる。	自ら課題を発見して、目標到達ができる。	自他を尊重し、社会の中で貢献できる人間	
将来に向けて学び続ける力	基本的知識・技能	基礎的知識・技能を身に付けようとする。	基礎的知識・技能を基礎レベルで習得する。	基礎的知識・技能について支援を受けながら応用できる。		基本的知識・技能を理解し習得し、場面によって主体的に応用できる。
	探究心	支援を受けながら、身の回りや社会現象等から興味のあるものを抽出しようとする。	支援を受けながら、身の回りや社会現象等から興味のあるものを抽出できる。	自ら身の回りや社会現象等から興味のあるものを抽出し、課題解決に努める。		身の回りや社会現象等から、自ら課題を発見し、解決できる。
	表現力	支援を受けながら、発表や文章の作成に努める。	支援を受けながら、発表や文章の作成ができる。	準備された内容について口頭発表や文章化、図表化できる。		発表や文章化、図表化の際に受け手の分かり易さや他者へのアピールを意識できる。
基本的生活習慣と規範意識	情報活用力	支援を受けながら、資料等から課題解決に必要な文章や図表の抽出に努める。	支援を受けながら、資料等から課題解決に必要な文章や図表を得ることができる。	資料等から課題解決に必要な内容、情報を抽出することができる。		資料等から必要な情報を得て整理し、課題解決に活用できる。
	基本的生活習慣	支援を受けながら、決められた時間や規則を守るように努める。	支援を受けながら、決められた時間を守り、規則正しく生活できる。	決められた時間を守り、規則正しい生活が習慣化できる。		規則的な生活習慣を守る意味を理解し、主体的に行動する。
	集団行動	支援を受けながら、規則や指示の通りに行動することに努める。	全体の流れに従って、規則や指示の通りに行動できる。	規則や指示の意味を理解し、主体的に集団行動に参加することができる。		集団のリーダーとして、規則や指示を他人に働きかけることができる。
	責任感	支援を受けながら、自分の言動に責任をもとうとする。	支援を受けながら、自分の言動に責任を持つことができる。	自ら、割り当てられた役割の意味を理解し、自分の言動に責任を持つことができる。		集団のリーダーとして全体の動きや目標を理解し、他人と役割を分担しながら、自分の役割に責任を持つことができる。
困難があってもやりとおす力	倫理観	社会の中で守るべきモラルに関して学ぶ。	社会の中で守るべきモラルに関して知識を深める。	社会の中でモラルに則り日常生活への応用に努める。		あらゆる場面においても、社会の中でモラルに則った言動ができる。
	集中力	支援を受けながら、課題に無関係な刺激を排除し、課題に集中できるように努める。	支援を受けながら、課題に無関係な刺激を排除し、課題に集中しようとする。	課題に無関係な刺激を排除し、自ら課題に集中できる。		自ら課題と選んだものに対し、集中力を持って取り組む。
	継続する力	支援を受けながら、課題に継続して取り組もうとする。	支援を受けながら、課題に継続して取り組む。	自ら、課題に継続して取り組むことができる。		自ら課題の目的・目標を理解し、継続して取り組むことができる。
新しい関係を築く力	積極性	支援を受けながら、課題に前向きに取り組もうとする。	支援を受けながら、課題に前向きに取り組もうとする。	自ら課題に前向きに取り組むことができる。		どのような課題に対しても、自ら課題に前向きに取り組むことができる。
	コミュニケーション能力	支援を受けながら、状況に応じて他人とコミュニケーションを図ろうとする。	支援を受けながら、状況に応じて自分の意見を言ったり、他人の意見を理解できる。	自ら他人の立場を理解し、正しい言葉遣いでコミュニケーションができる。		初めての人とも適切な態度で接しながら意見を交換できる。
	他者の尊重力	支援を受けながら、基本的な挨拶を心がけ、他人への礼儀を欠かさず接しようとする。	支援を受けながら、他人への礼儀を欠かさず接することができる。基本的な挨拶ができる。	他人との立場の違いを尊重し、礼儀を欠かさず接することができる。		互いの立場を理解し、公平性を保ち双方を尊重した言動ができる。
公共心	支援を受けながら、社会活動に参加し行動しようとする。	支援を受けながら、社会活動に参加し一定の貢献ができる。	自ら社会活動の目的を理解し、参加し、一定の貢献ができる。	集団のリーダーとして社会活動に参加し、一定の貢献ができる。		